

①事業の基礎情報

事業名	公共下水道事業(汚水)		担当部・グループ名	都市政策部 上下水道グループ						
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度		担当 GL 氏名	杉浦 睦彦						
新規・継続の別	継続事業		電話番号(内線)	52-1111(内線 290)						
総合計画 (基本計画) 体系	個別目標	(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります		予 算 書 上 の 予 算 ・ 事 業 名	款 1款 下水道事業費					
	こんなことに取り組みます	住環境やライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性、魅力を高める取組みを進めます。		項 目	2項 下水道建設費 1目 下水道建設費					
	みんなで目指すまちづくり 指標名	暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合		事業名	3 汚水施設建設事業					
	現状値 (H25)	67	実績値 (H26)	64	実績値 (H27)	63	実績値 (H28)		目標値 (H29)	72
			総合戦略	□該当する ■該当しない						

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★日常生活や社会活動により汚した水を集め、きれいな水に甦らせ、川や海に流すことにより、快適な生活を実現する。川や海の水質保全、便所の水洗化により衛生的で安心な街を目指す。		
対象(誰・何を対象に)	汚水管整備区域内の市民 (全体計画での計画汚水処理人口)	対象の数量	43,100 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆市域 1,300h aのうち、公共下水道整備計画区域において計画的に汚水管の整備を実施していくことにより、川や海の水質保全、生活環境の改善が図られ、安心して安全快適なまちを目指す。		



③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容	
事業費総額 (千円)		515,560	441,538	・工事費	376,818 千円
財源内訳	一般財源	32,543	43,388	・物件移転補償費	64,720 千円
	特定財源	国・県支出金	64,000	73,000	
		その他	419,017	325,150	
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆国庫補助事業の手続き発注をした。	H27.6	完了
	◆「汚水処理整備に関するアクションプラン」を策定した。	H27.12	完了
	◆「社会資本総合整備計画Ⅱ」を策定した。	H28.2	完了
	◆平成 27 年度工事予定区域内の污水管整備工事を完了した。	H28.3	完了
参画・協働・ 情報共有の工夫	★下水道の使用できる区域、今年度の整備区域を4月1日号広報にてPR。		
	★整備区域の地元説明会の開催。		
	★来年度になると金融機関から無利子で下水道接続工事資金の融資が受けられなくなる区域を9月1日号広報に掲載し普及促進をPR。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆衛生的で快適な生活ができる区域が拡大された。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 着実な進捗</u> ・安心で安全、快適なまちを目指していくためには、長期的な観点に立ち、計画的に事業を推進していく必要がある。	・高浜市公共下水道計画に基づき、計画的に污水管の整備を実施していく。
<u>(2) 国・県との連携</u> ・事業の推進にあたっては、計画協議や財政支援など、国・県との連携が必要である。	・目標達成に向け、今後も国・県等の関係機関と連携していく。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆汚水処理概成 10 年に向けた整備	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆来年度になると金融機関から無利子で下水道接続工事資金の融資が受けられなくなる区域を9月1日号広報に掲載し普及促進をPR。	

特記事項	
------	--